

月桂冠樽詰菰冠のお取り扱い方

呑口の立て方 ※呑口は、18L商品のみ立てることができます。

用意するもの



- ①カッター
- ②金槌（木槌）
- ③プライヤー



赤色矢印部分の内側にある樽栓（たば）をはずして呑口を取りつける作業です。



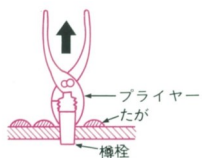
厚さ5cmぐらいの棒または台の上に、月桂冠の文字が上になるように、また樽の底が高くなるようにのせ、樽を安定させてください。



樽栓は下図のように月桂冠の「冠」の位置にあります。この部分の飾りごもをカッターで右図の赤い線のように「工」の字形に切ります。切った部分を左右に開くと、中の紙製ボードが見えます。



紙製ボードを菰を開けた形に沿って切り取り、奥の樽栓がよく見えるように穴を整えてください。



樽栓の穴が痛まないようプライヤーで樽栓をはさみ、左右にこじながらゆるめ、慎重に引き抜いてください。



添付の呑口（のみくち）は図のように、（イ）の呑口と（ロ）の呑口でできています。呑口（イ）から（ロ）の呑口を外してください。（イ）の呑口を樽栓の穴にねじりながら差し込みます。樽に呑口が垂直に納まるようにして、金槌（木槌）で軽く2、3回たたいてください（呑口を強くたたきすぎると樽にひびが入りますのでご注意ください）。



取りつけた呑口（イ）に、呑（ロ）をしっかり差し込んだあと、ゆっくりと樽を起こしてください。呑（ロ）をねじりながら抜き取りますと、呑口から香り高い樽酒が流れ出ます。

月桂冠株式会社

〒612-8660 京都市伏見区南浜町247

お客様相談室 TEL：0120-623-561（9時～17時 平日のみ）

www.gekkeikan.co.jp